

科目コード	A407
授業科目名	看護学統合実習
授業科目名(英文)	Integrated Clinical Practice in Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	4年
開講学年	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	2
時間数	90
該当ディプロマ	◎看DP-3、看DP-1、看DP-2、看DP-4、看DP-5
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	阿南あゆみ
授業の概要	<p>これまでに習得した知識・技術を活用して保健・医療・福祉の包括的な視点から看護の統合的実践力の向上を目指す。学生自ら実習を企画・実施・評価し、チームの一員として多様な場における看護実践力を習得し、将来の自らの看護の発展と方向性を探求する。実習領域毎にグループを構成し(学生数2~6人等)、学生自ら主体的に実習に臨む。</p> <p>専門実習；看護管理、老年看護、手術室看護、小児看護、母性看護、精神看護、在宅看護</p> <p>産業・地域看護(保健師選択者)</p> <p>形態別実習；複数受け持ち</p>
授業の到達目標 (学修効果)	<p>1) 実習計画を立案することができる。</p> <p>(1) 各グループの実習目標を明確にすることができる。</p> <p>(2) 実習目標を達成するための学習を積極的に行うことができる。</p> <p>(3) 実習内容を具体的に計画することができる。</p> <p>(4) 実習内容および実習方法を調整することができる。</p> <p>(5) 実習メンバーで協力して学習を進めることができる。</p> <p>2) 専門実習または形態別実習 実習目標 各グループで目標を立案する。</p> <p>3) カンファレンスや学習発表会を通じて学びを共有し、学習のまとめを行うことができる。</p> <p>(1) 他者の意見や助言を傾聴し、自己の看護実践を振り返ることができる。</p> <p>(2) 学習成果を論理的にまとめ、グループ毎に発表することができる。</p> <p>(3) 自己の将来に向けての課題や方向性を明確にすることができる。</p>
予習復習の所要時間	実習時間90時間
成績評価方法	各領域における評価(実習への参加の姿勢(20%)、実習記録内容(50%)、計画発表会やまとめの会参加状況(30%))により、総合的に判定する。100点満点中60点以上を合格とする。
教科書	特になし
参考書	他学の統合実習に関する論文など
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：各実習領域のオリエンテーション 2～5日目：臨地実習（金曜日；臨地カンファレンス）	臨地実習	阿南 あゆみ 立石 和子 柴田 弘子 中谷 淳子 實崎 美奈 永松 有紀 長 聡子 原賀 美紀 八谷 百合子 中村 恵美 岡田 なぎさ 野元 由美 丸山 泰子 仲前 美由紀 仲野 宏子 小山 理英 児玉 豊彦 萩原 智子 白石 祈枝 西村 春香 大森 美保 内田 真優美 古村 沙織 高木 幸子 栗山 知子 井上 ちはる 山口 恭平
2	第2週目	1～3日目：臨地実習 4日目：臨地カンファレンス 5日目：学内カンファレンス	臨地実習	同上